



Bank of Yokohama

# Investor Presentation

～ 2014年度 第1四半期決算について ～

2014年8月

横浜銀行

# 1. 2014年度第1四半期決算サマリー

- 14年度第1Qの単体の四半期純利益：前年同期比ほぼ横ばいの154億円
- 14年度第1Qの連結の四半期純利益：前年同期比ほぼ横ばいの153億円

単体

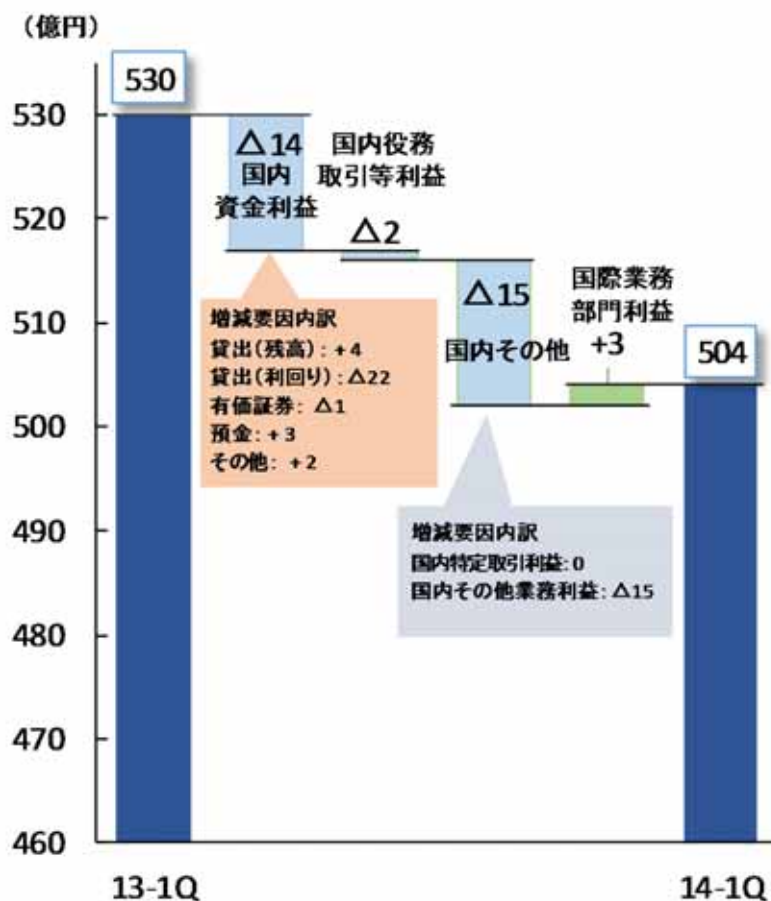
(億円)

	13年度第1Q	14年度第1Q	前年同期比	14年度予想 (5月12日公表)
<b>業 務 粗 利 益</b>	<b>530</b>	<b>504</b>	<b>26</b>	<b>2,060</b>
うち国内資金利益	394	380	14	1,552
うち国内役務取引等利益	104	102	2	409
うち国内特定取引利益	0	0	+0	4
うち国内その他業務利益	25	10	15	54
うち国際業務部門利益	6	9	+3	38
<b>経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 ) ( )</b>	<b>241</b>	<b>250</b>	<b>+ 9</b>	<b>1,020</b>
( 参 考 ) O H R ( % )	45.5%	49.7%	+ 4.2%	49.5%
<b>実 質 業 務 純 益</b>	<b>289</b>	<b>253</b>	<b>36</b>	<b>1,040</b>
一般貸倒引当金繰入額 ( )	4	0	4	-
<b>業 務 純 益</b>	<b>284</b>	<b>254</b>	<b>30</b>	<b>-</b>
<b>臨 時 損 益</b>	<b>38</b>	<b>22</b>	<b>+ 16</b>	<b>-</b>
うち不良債権処理額 ( )	22	15	7	-
うち株式等関係損益	7	0	7	-
<b>経 常 利 益</b>	<b>245</b>	<b>231</b>	<b>14</b>	<b>940</b>
<b>四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益</b>	<b>155</b>	<b>154</b>	<b>1</b>	<b>610</b>
<b>与 信 関 係 費 用 ( )</b>	<b>27</b>	<b>14</b>	<b>13</b>	<b>80</b>
連結				
<b>経 常 利 益</b>	<b>259</b>	<b>247</b>	<b>12</b>	<b>1,020</b>
<b>四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益</b>	<b>154</b>	<b>153</b>	<b>1</b>	<b>630</b>

## 2. 業務粗利益・経費の増減要因

- 14年度第1Qの業務粗利益：前年同期比26億円減少
- 14年度第1Qの経費：前年同期比9億円増加
- OHRは業務粗利益の減少と経費の増加により49.7%となったが、中計目標指標である40%台後半を維持

### 業務粗利益の増減要因



### 経費の増減要因

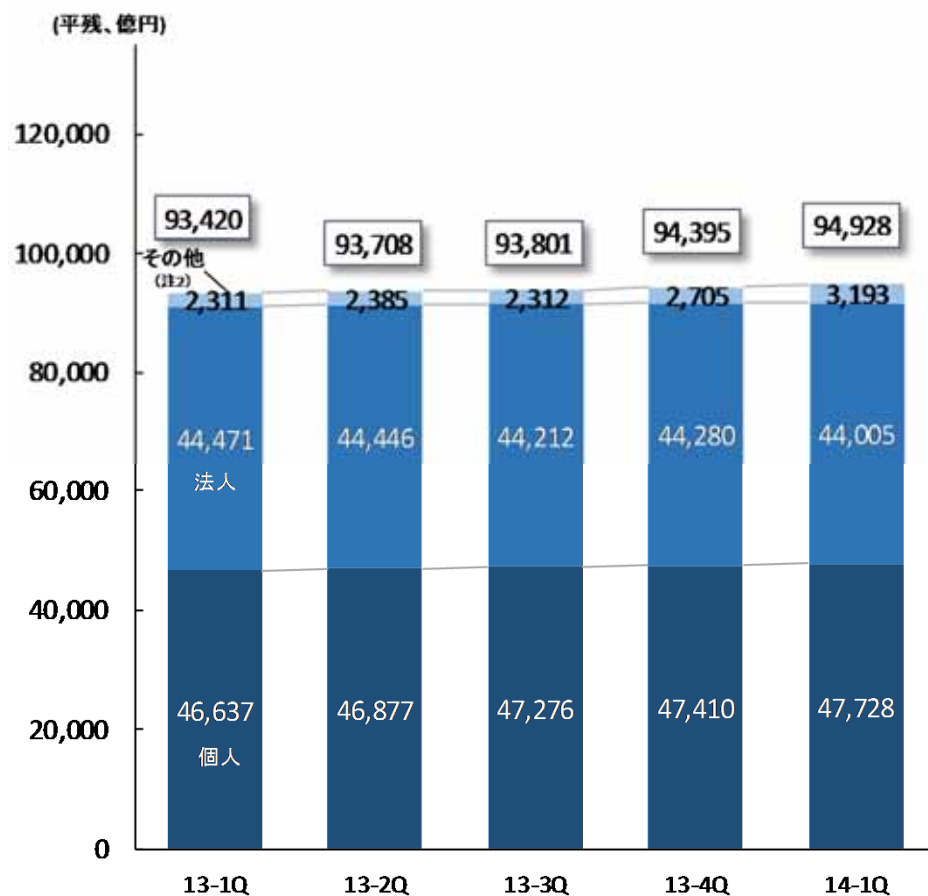
(億円)

	14-1Q	前年同期比	要因
人件費	109	+10	・賞与の増額 +5 派遣スタッフの直接雇用化
物件費	125	2	
税金	15	+2	・消費税の増税
合計	250	+9	

### 3. 貸出金・預金平残の推移

- 14年度第1Qの貸出金平残(前年同期比1.6%増加)：個人(前年同期比2.3%増加)、法人(前年同期比1.0%減少)
- 14年度第1Qの預金平残(前年同期比3.4%増加)：個人(前年同期比3.3%増加)、法人(前年同期比4.4%増加)

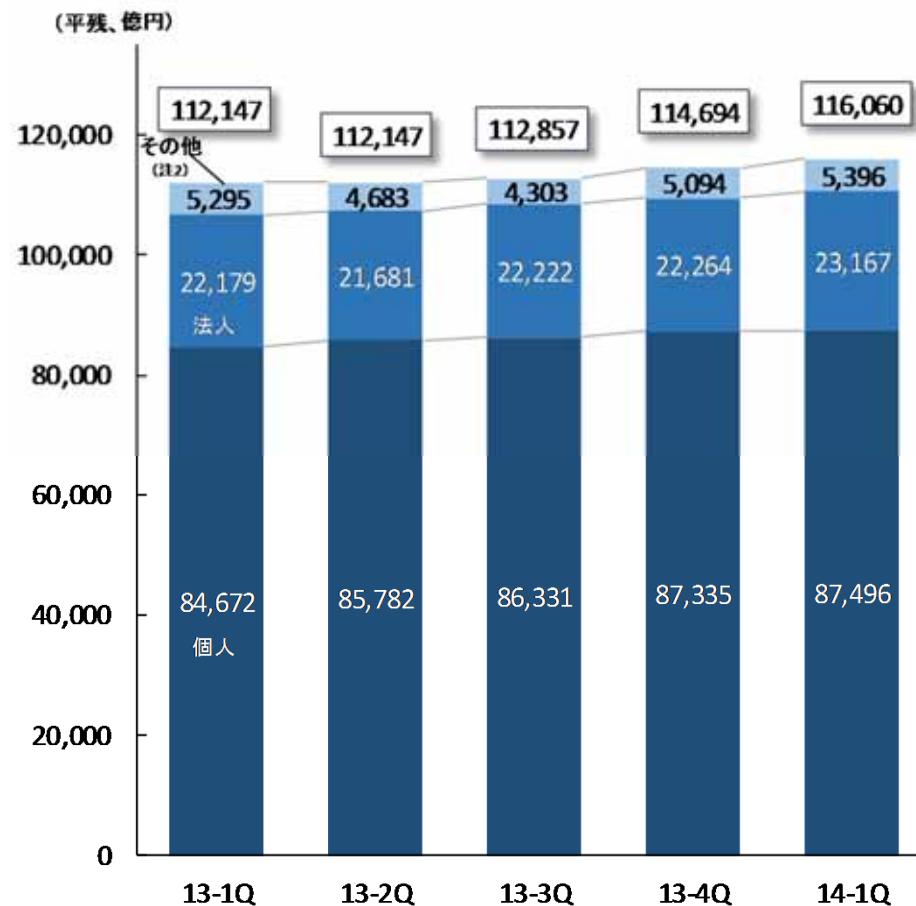
#### 貸出金平残の推移



(注1)国内店分

(注2)その他 = 公共+公共関連貸出金

#### 預金平残の推移



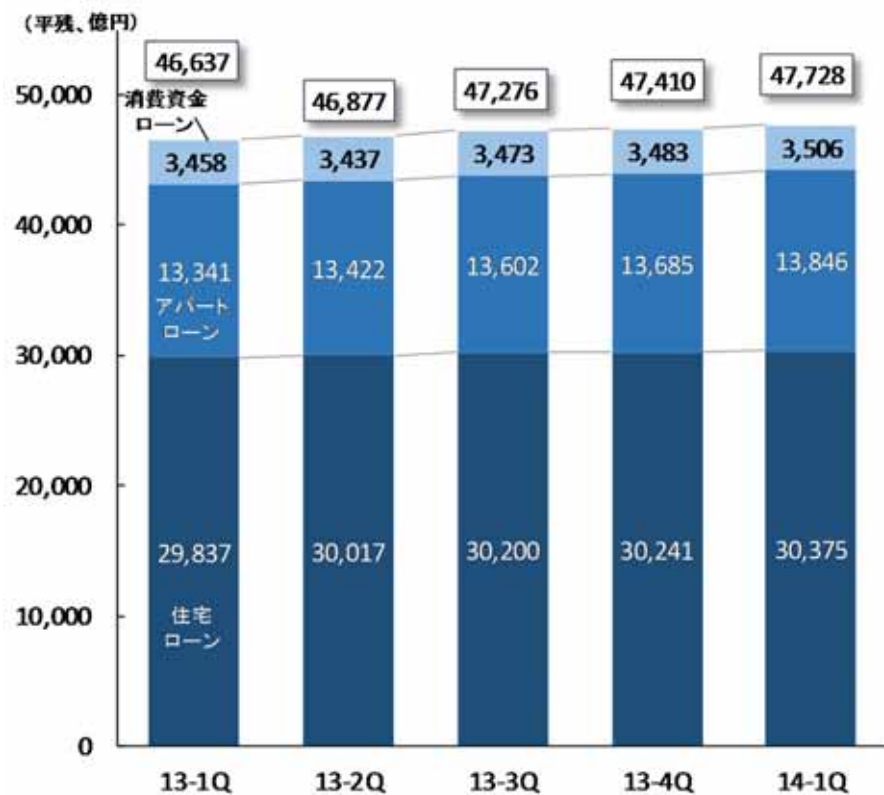
(注1)国内店分

(注2)その他 = 公金 + 金融機関預金

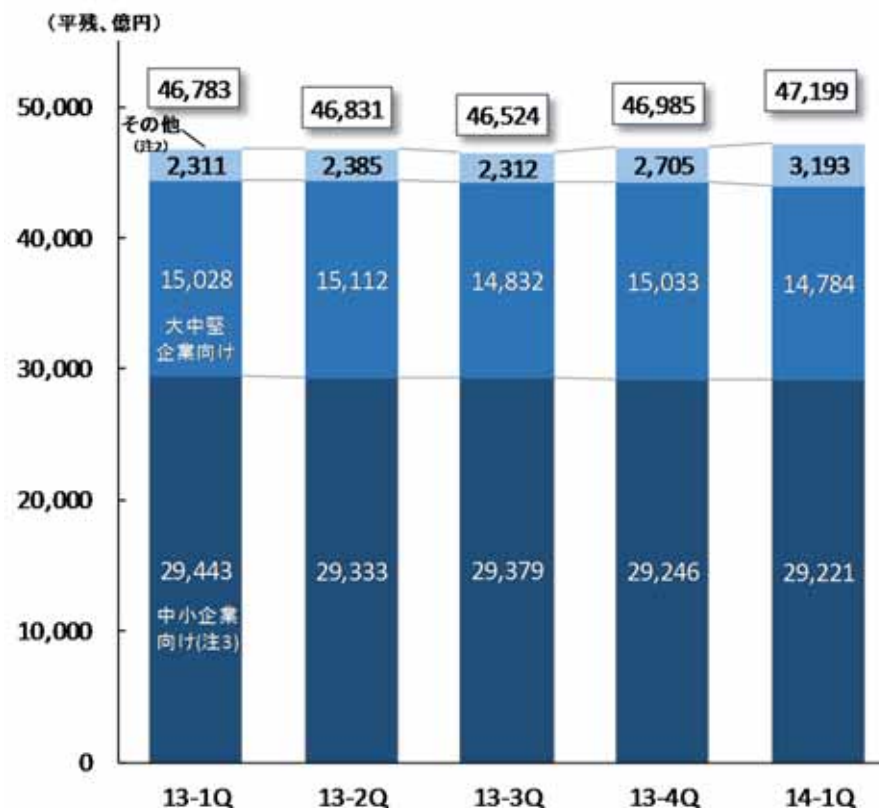
## 4. 貸出金平残の内訳

- 14年度第1Qの個人ローン平残：住宅ローン(前年同期比1.8%増加)、アパートローン(前年同期比3.7%増加)、消費資金ローン(前年同期比1.3%増加)
- 14年度第1Qの法人等向け貸出平残：中小企業・大中堅企業向けともに前年同期比減少も、準公共を除いた中小企業向け貸出平残は前年同期比436億円増加(前年同期比1.5%増加)
- 14年度第1Qの海外支店貸出平残：前年同期比29億円増加(前年同期比26.8%増加)

### 個人ローン平残の推移



### 法人等向け貸出平残の推移

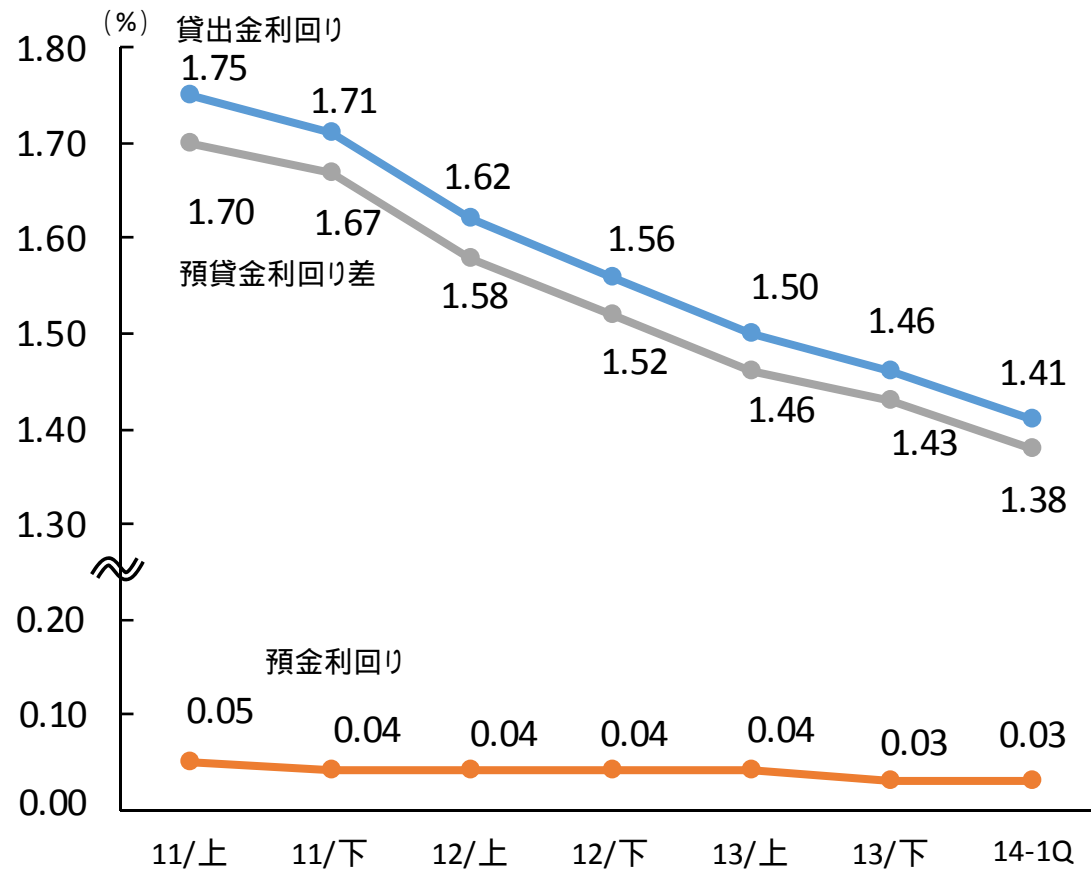


(注1)国内店分  
 (注2)その他 = 公共 + 公共関連貸出金  
 (注3)中小企業向けには準公共向けを含む

## 5. 預金・貸出金利回りの推移 ~ 国内業務部門

■ 14年度第1Qの貸出金利回りは1.41%、預貸金利回り差は1.38%

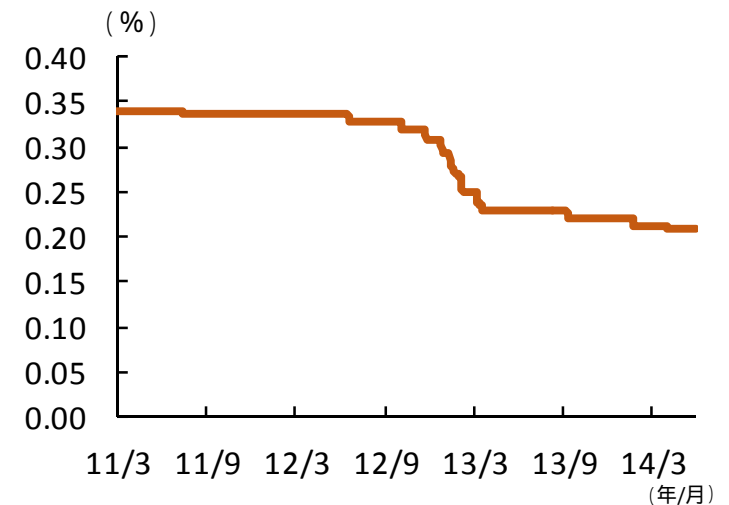
### 利回り



### 年度利回り

	11年度	12年度	13年度	14年度 (予想)
貸出金利回り	1.73	1.59	1.48	1.42
預貸金利回り差	1.68	1.55	1.44	1.38
預金利回り	0.05	0.04	0.04	0.04

### 3ヶ月TIBOR推移



## 6. 有価証券ポートフォリオ

- 14年6月末の有価証券は、期中の機動的運用により、一時的に国債残高が増加し、デュレーションも長期化

### 有価証券種類別内訳 満期保有目的・その他有価証券の合計

	(億円)				評価損益	14/3比
	13/3	14/3	14/6	14/3比		
<b>合計</b>	<b>22,269</b>	<b>20,502</b>	<b>22,521</b>	<b>+ 2,019</b>	<b>1,053</b>	<b>+ 121</b>
債券	18,483	15,814	17,481	+ 1,667	205	+ 7
国債	8,707	5,432	7,402	+ 1,970	64	2
地方債	2,311	2,569	2,710	+ 141	29	0
社債	7,463	7,812	7,367	445	111	+ 9
うち政府保証債	4,331	4,530	4,190	340		
うち金融債	512	905	1,017	+ 112		
うち公募事業債	1,001	769	546	223		
株式	1,874	1,860	1,946	+ 86	733	+ 87
その他	1,912	2,828	3,093	+ 265	115	+ 28
国内投信	909	1,235	1,466	+ 231		
外国債券	924	1,521	1,607	+ 86		
外国株式	10	10	10	0		
その他	67	60	10	50		

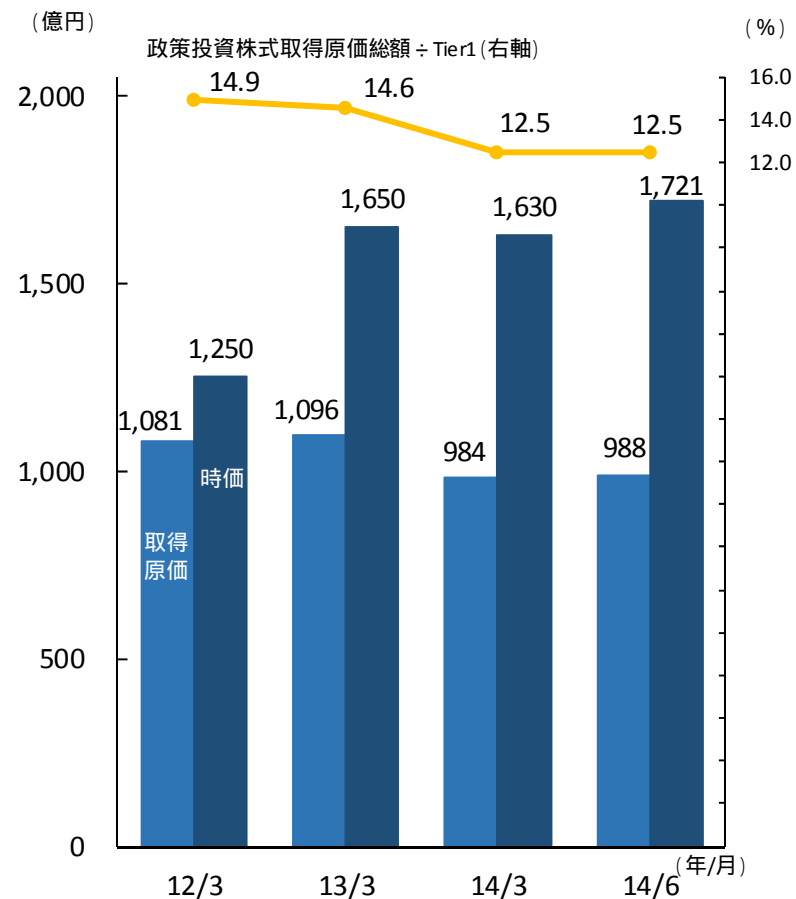
### <デュレーションの推移>

	13/3	14/3	14/6
円債	2.8年	2.2年	2.9年
外債	2.9年	2.3年	2.2年

(注) デュレーションは「その他有価証券」が対象。

(注) 14年6月の円債デュレーションにはバライツ取引が含まれる。

### 政策投資目的の上場株式残高の推移

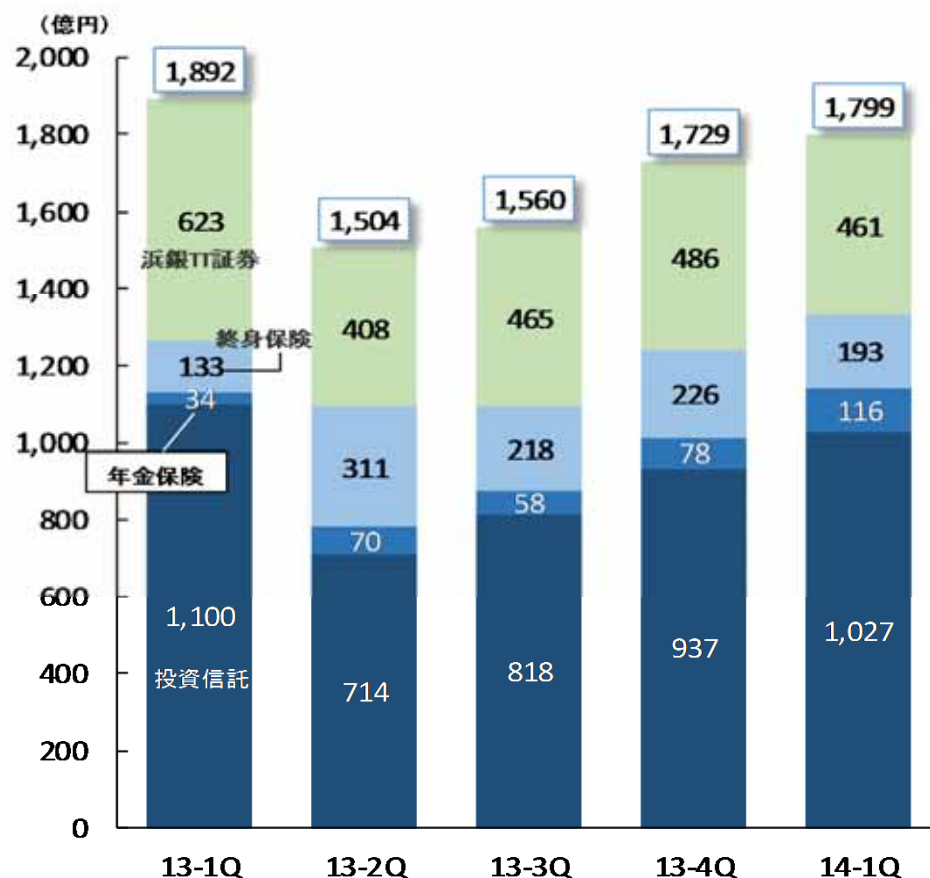


【参考】Tier1	7,259	7,469	7,832	7,880
-----------	-------	-------	-------	-------

## 7. 個人向け投資型商品残高の推移

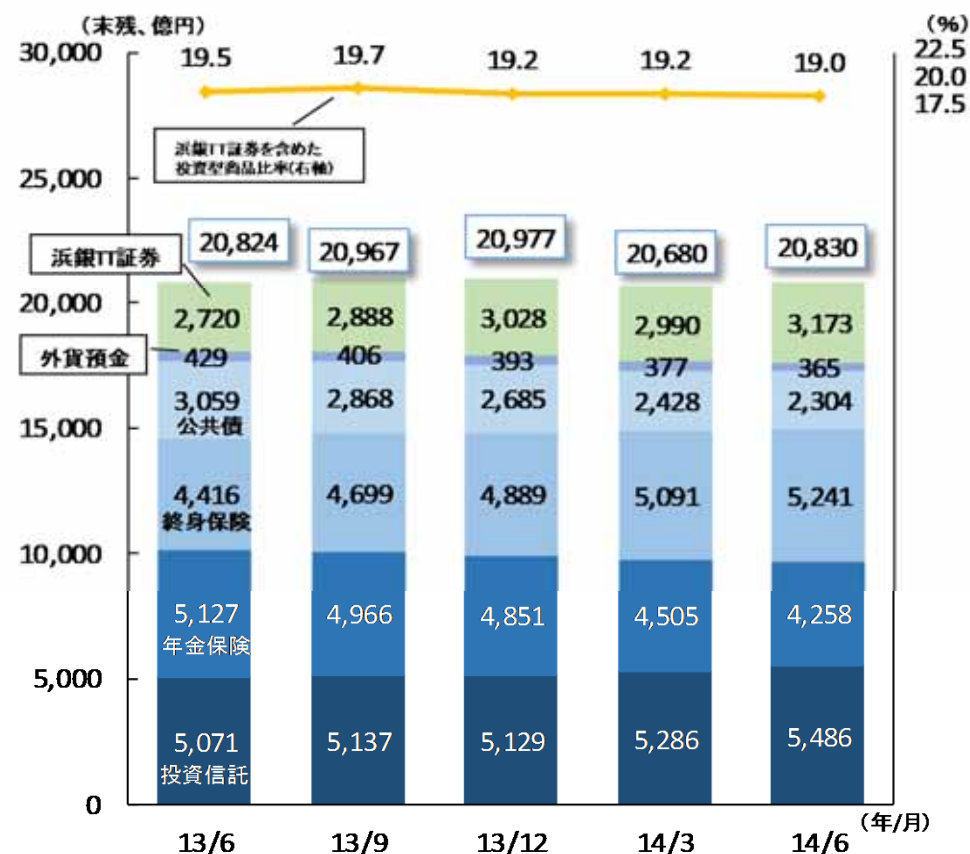
- 14年度第1Qのグループ全体の投資信託・保険商品等の販売額：前期比70億円増加(前期比4.0%増加)
- 14年6月末のグループ全体の個人向け投資型商品残高：14年3月末比150億円増加(14年3月末比0.7%増加)

### 投資信託・保険商品等販売の状況



(注) 浜銀TT証券は、債券、投資信託、外債・仕組債の販売実績

### グループ全体の個人向け投資型商品残高の推移



(注1) 浜銀TT証券は株式、債券、投資信託、年金保険、外債・仕組債の残高

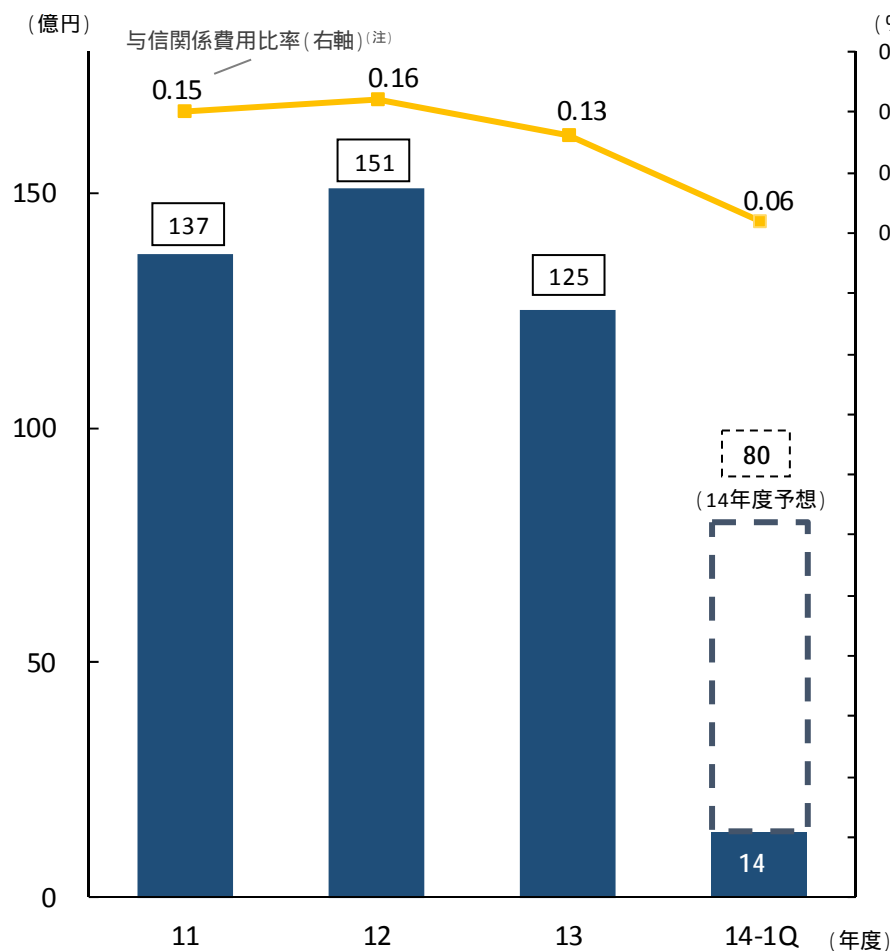
(注2) 投資型商品比率 = 浜銀TT証券を含む個人投資型商品末残 ÷ (個人円貨預金末残 + 浜銀TT証券を含む個人投資型商品末残)



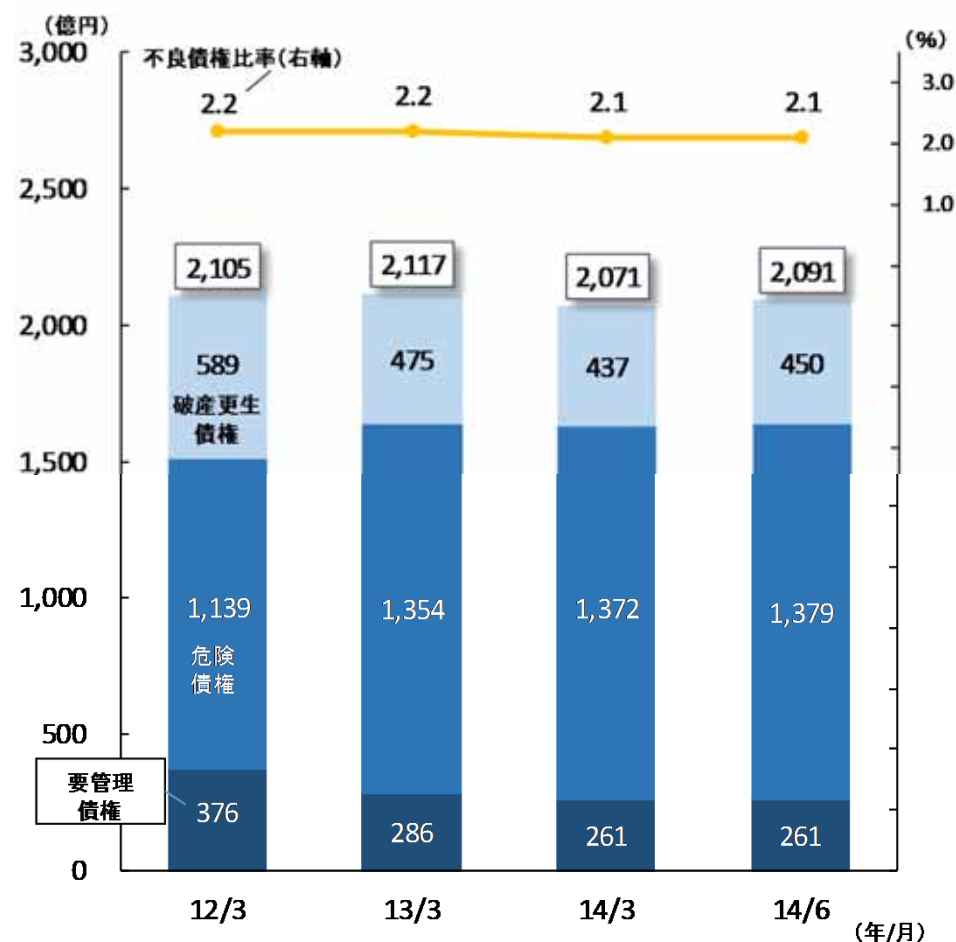
## 8. 与信関係費用 & 不良債権残高の推移

- 14年度第1Qの与信関係費用：前年同期比13億円減少の14億円
- 14年6月末の不良債権比率：前期に続き2.1%と低位安定

### 与信関係費用の推移



### 不良債権(金融再生法開示債権)残高の推移

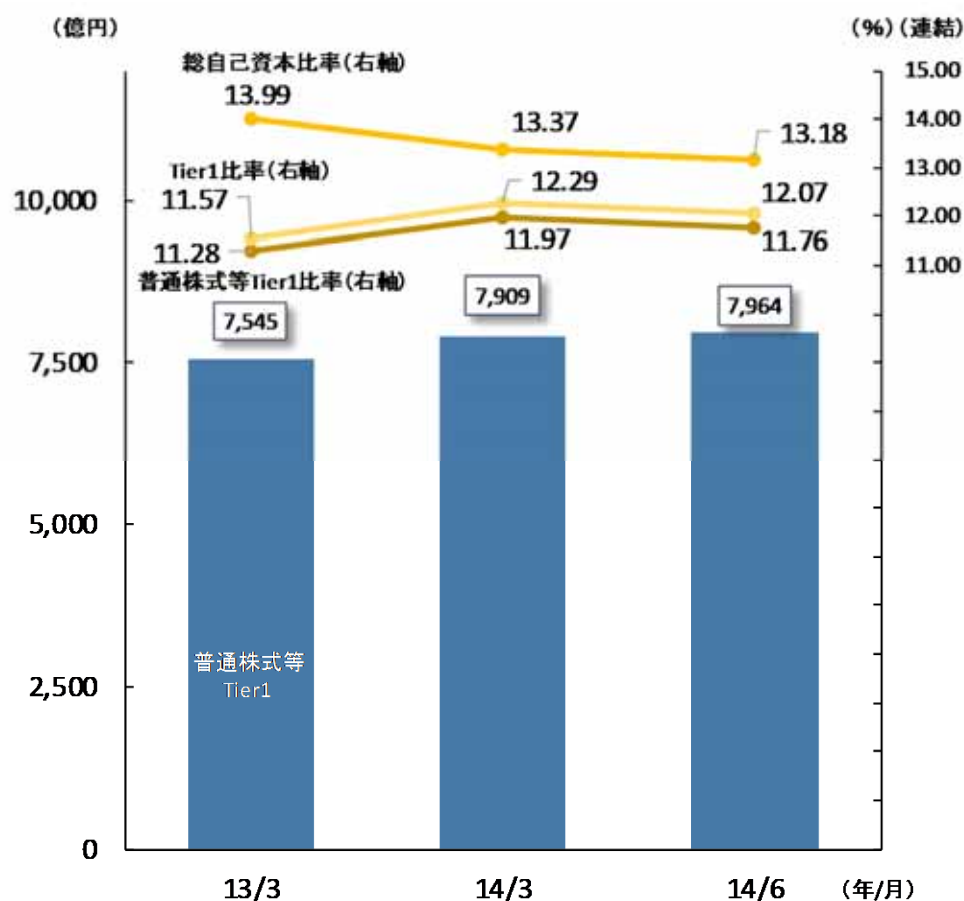


(注) 与信関係費用比率 = 与信関係費用 ÷ 貸出金平残  
 なお、14-1Qの値は3ヶ月の実績を年換算したもの

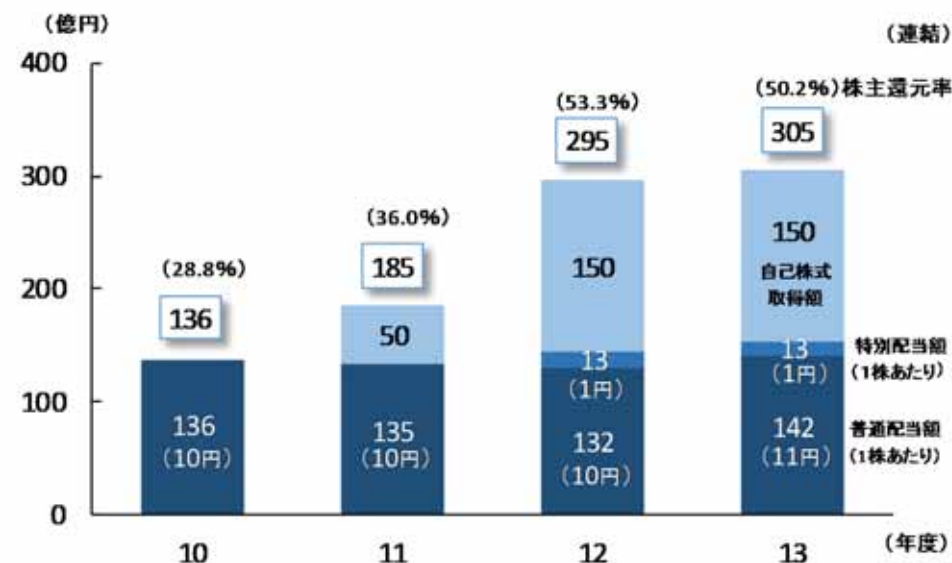
## 9. 資本・株主還元の様況

- 14年6月末の普通株式等Tier1比率(連結)は11.76%と十分な水準を維持
- 14年5月から6月にかけて、100億円の自己株式取得を実施

### 普通株式等Tier1の推移



### 株主還元額の推移



### 中計期間中の利益還元方針

普通配当	普通配当金として業績にかかわらず年11円を安定的にお支払いいたします。
機動的な自己株式取得	市場動向や業績見通しなどを勘案のうえ、機動的に自己株式の取得を実施してまいります。
特別配当	年度の連結当期純利益が550億円を上回る場合には、特別配当を実施いたします。

(注) 経過措置ベース。完全実施ベースの普通株式等Tier1比率(14/6)は、12.15%

Afresh あなたに、あたらしく。



Bank of Yokohama

事前に株式会社横浜銀行の許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。